



GLOSSARY

- 802.3af** Power over Ethernet (PoE) のメカニズムを説明する IEEE 規格。この規格は、標準のイーサネット ケーブル配線を介して電力およびデータの両方を提供する機能を規定します。
- 802.11** 2.4GHz 周波数帯で稼動する 1Mbps および 2Mbps 無線 LAN に対するキャリア検知メディア アクセス コントロールと物理層の規格を定めている IEEE 規格。
- 802.11a** 5GHz 周波数帯で稼動する無線 LAN に対するキャリア検知メディア アクセス コントロールと物理層の規格を定めている IEEE 規格。
- 802.11b** 2.4GHz 周波数帯で稼動する 5.5Mbps および 11Mbps 無線 LAN に対するキャリア検知メディア アクセス コントロールと物理層の規格を定めている IEEE 規格。
- 802.11g** 2.4GHz 周波数帯で稼動する 6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、および 54Mbps ワイヤレス LAN に対するキャリア検知メディア アクセス コントロールと物理層の規格を定めている IEEE 規格。

A

- Autonomous アクセス ポイント** Cisco ワイヤレス LAN コントローラを動作させる必要がない、十分な機能を備えたスタンドアロン アクセス ポイント。

B

- BOOTP** ブート プロトコル。ネットワーク上のデバイスに静的に IP アドレスを割り当てる際に使用されるプロトコルです。
- BPSK** 2 位相偏移変調は、IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN で、1 Mbps の伝送に使用される変調技術です。

C

- CCK** Complementary Code Keying。IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN で、5.5Mbps および 11Mbps の伝送に使用される変調技術。

- CCKM** Cisco Centralized Key Management。CCKM を使用すると、認証されているクライアント デバイスは、あるアクセス ポイントから別のアクセス ポイントへ、再アソシエーションの際にほとんど遅延を感じることなくローミングできます。ネットワーク上のアクセス ポイントは、Wireless Domain Service (WDS; 無線ドメイン サービス) を提供し、サブネット上の CCKM 対応クライアント デバイスに対してセキュリティ クレデンシャルのキャッシュを生成します。WDS アクセス ポイントのクレデンシャルのキャッシュにより、CCKM 対応クライアント デバイスが新しいアクセス ポイントにローミングする際に発生する再アソシエーションに必要な時間が大幅に短縮されます。
- CSMA** Carrier Sense Multiple Access (キャリア検知多重アクセス)。IEEE 802.11 規格で定められた無線 LAN のメディア アクセス手段です。

D

- dBi** アンテナ ゲインの測定に一般的に使用されるデシベルと等方性アンテナの比率。dBi の値が大きいほどゲインが高く、対応角度が鋭角になります。
- DHCP** Dynamic Host Configuration Protocol。多数のオペレーティング システムで使用でき、ネットワーク上のデバイスに指定範囲内の IP アドレスを自動発行するプロトコル。割り当てられたアドレスは、管理者が指定した一定の期間、デバイスに保持されます。
- DNS** Domain Name System (ドメイン ネーム システム) サーバ。テキスト名を IP アドレスに変換するサーバ。英数字のホスト名とそれらに対応する IP アドレスが登録されたデータベースを保持します。
- DSSS** Direct Sequence Spread Spectrum (ダイレクト シーケンス スペクトラム拡散方式)。スペクトラム拡散方式の無線送信の一種。その信号を、広範な周波数帯に連続して送信します。

E

- EAP** Extensible Authentication Protocol。オプションの IEEE 802.1x セキュリティ機能。大規模なユーザ ベースを持ち、EAP 対応の Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) サーバにアクセスする組織に最適なプロトコルです。
- Ethernet** 最も広く使用されている有線のローカル エリア ネットワーク。キャリア検知多重アクセス (CSMA) を使って複数のコンピュータによるネットワークの共有を可能にし、使用されている物理層に応じて 10Mbps、100Mbps、または 1000Mbps での動作を実現します。

G

- GHz** ギガヘルツ。10 億サイクル / 秒。周波数の測定単位です。

I

- IEEE** Institute of Electrical and Electronic Engineers（米国電気電子技術者協会）。出版物、会議、規格策定などの活動を通じて、電気技術者を支援する専門家団体です。イーサネットの 802.3 規格および無線 LAN の 802.11 規格を策定します。
- IP アドレス** ステーションの Internet Protocol (IP; インターネットプロトコル) アドレス。
- IP サブネットマスク** IP サブネットワークの識別に使用される番号。IP アドレスが LAN で認識可能かどうか、あるいは、ゲートウェイ経由で到達させる必要があるかどうかを示します。この番号は、255.255.255.0 のように IP アドレスと同様の形式で表されます。

L

- Lightweight アクセスポイント** Cisco ワイヤレス LAN コントローラを使用した Cisco Centralized Wireless LAN アーキテクチャで動作するアクセスポイント。
- LWAPP** Lightweight アクセスポイントプロトコル。Cisco Centralized Wireless LAN アーキテクチャで使用される Internet Engineering Task Force (IETF; インターネット技術特別調査委員会) のドラフトプロトコル。

M

- MAC** Media Access Control (メディアアクセスコントロール) アドレス。イーサネットデータパケットで、アクセスポイントやクライアントアダプタなどのイーサネットデバイスを識別するために使用される 48 ビットの一意な番号です。

O

- OFDM** Orthogonal Frequency Division Multiplex (直交周波数分割多重方式) は、IEEE 802.11a 準拠の無線 LAN で、6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、および 54Mbps の伝送に使用される変調技術です。

Q

- QPSK** QPSK (4 位相偏移変調) は、IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN で、2 Mbps の伝送に使用される変調技術です。

R

RF Radio Frequency (無線周波数)。無線を使用したテクノロジーに使用される一般用語です。

RP-TNC Cisco Aironet の無線機器とアンテナに特有のコネクタ タイプ。スペクトラム拡散デバイスに関する FCC 規則の Part 15.203 では、送信機器で使用できるアンテナのタイプが制限されています。この規則に適合するため、Cisco Aironet では、他のすべての無線 LAN プロバイダーの製品と同様に、無許可のアンテナを無線機器に取り付けることができないよう、無線装置とアンテナに固有のコネクタを使用しています。

S

SSID Service Set Identifier (サービスセット ID)。「無線ネットワーク名」とも呼ばれます。無線ネットワークの識別に使用され、ステーションで相互通信やアクセス ポイントとの通信に必要とされる一意の識別子。SSID には、最大 32 文字の英数字を使用できます。

U

UNII Unlicensed National Information Infrastructure。5.15 ~ 5.35GHz および 5.725 ~ 5.825GHz 周波数帯で稼動する UNII デバイスに関する規制です。

UNII-1 5.15 ~ 5.25GHz 周波数帯で稼動する UNII デバイスに関する規制。

UNII-2 5.25 ~ 5.35GHz 周波数帯で稼動する UNII デバイスに関する規制。

UNII-3 5.725 ~ 5.825GHz 周波数帯で稼動する UNII デバイスに関する規制。

W

WDS Wireless Domain Service (無線ドメイン サービス)。無線 LAN で WDS を提供するアクセス ポイントは、無線 LAN の CCKM 対応クライアント デバイスに対するクレデンシャルのキャッシュを維持します。CCKM 対応クライアントが、1 つのアクセス ポイントから別のアクセス ポイントにローミングする場合、WDS アクセス ポイントは、マルチキャスト キーを持つ新しいアクセス ポイントに、クライアントのクレデンシャルを転送します。クライアントと新しいアクセス ポイントとの間で渡されるパケットは 2 つだけであるため、再アソシエーションの時間が大幅に短縮されます。

WEP Wired Equivalent Privacy (有線と同等のプライバシー)。IEEE 802.11 規格で定められているオプションのセキュリティ メカニズムです。ケーブルと同等のリンク完全性を無線デバイスで実現します。

WLSE	Wireless LAN Solutions Engine。WLSE は Cisco Aironet 無線 LAN インフラストラクチャを管理するための専用のアプライアンスです。顧客が定義したグループ内のアクセス ポイントを中央から識別および設定し、スループットとクライアントのアソシエーションに関してレポートします。WLSE の集中管理機能は、統合テンプレートベースの設定ツールでさらに拡張され、設定の簡易化と生産性の向上を実現します。
WNM	Wireless Network Manager (無線ネットワーク マネージャ)。
WPA	Wi-Fi Protected Access (WPA) は、既存および将来の無線 LAN システムのデータ保護とアクセス コントロールの水準を大幅に向上させる、標準規格に基づく相互運用性のあるセキュリティ拡張です。WPA は、現在策定中の IEEE 802.11i 規格のサブセットで、この規格と互換性があります。WPA では、データ保護に Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) を使用し、認証済みキー管理に 802.1X を使用しています。

あ

アクセス ポイント	電波を使用して、有線ネットワークと無線ステーションを接続する無線 LAN データ トランシーバ。
アソシエート	ステーションがアクセス ポイントと無線通信できるように適切に設定されること。
アドホック ネットワーク	アクセス ポイントを使用せずに、ステーションだけで構成された無線ネットワーク。
アンテナ ゲイン	一定圏内で無線エネルギーをある方向へ収束させるアンテナの能力を示す測定値。アンテナ ゲインが高いほど、特定の方向により収束された放射パターンとなります。

い

インフラストラクチャ	有線イーサネット ネットワーク。
-------------------	------------------

く

クライアント	アクセス ポイントのサービスを使用して、ローカル エリア ネットワーク上で他のデバイスと無線通信を行う無線デバイス。
---------------	--

け

ゲートウェイ	2 つの互換性のないネットワークを接続するデバイス。
---------------	----------------------------

す

スペクトラム拡散方式

他の方式よりも広帯域幅にユーザ情報を拡散する無線送信テクノロジー。耐干渉性が向上し、無資格での運用が可能になるという利点を得るために必要なテクノロジーです。

せ

セル

無線デバイスがベースステーションと通信できる無線範囲（カバレッジ）。セルのサイズは、転送速度、使用されるアンテナの種類、物理的な環境、およびその他の要因によって決まります。

全方向性

通常は、基本的に円状のアンテナ放射パターンを指します。

そ

送信電力

無線送信の電力レベル。

た

ダイポール

2つの素子（内部の場合もあり）で構成される低ゲイン（2.2dBi）アンテナの一種。

て

データ レート

デバイスによってサポートされているデータ転送レートの範囲。データ レートはメガビット/秒（Mbps）で測定されます。

と

等方性

球形に信号を放射するアンテナ。

ドメイン名

ネットワークまたはネットワーク リソースのグループを示すテキストの名前。name.com（企業）、name.edu（教育関連組織）、name.gov（政府関連組織）、ISPname.net（ISPなどのネットワーク プロバイダー）、name.ar（アルゼンチン）、name.au（オーストラリア）など、組織のタイプや地域ごとに付けられます。

は

- パケット** ネットワーク上の通信に使用される基本的なメッセージ単位。パケットには通常、ルーティング情報とデータが含まれ、応じてエラー検出情報が含まれます。
- 範囲** トランスミッタが信号を送信できる直線距離。

ひ

- ビーコン** 無線デバイスのアベイラビリティと存在を信号で通知する無線 LAN パケット。ビーコン パケットはアクセス ポイントおよびベース ステーションから送信されますが、コンピュータ対コンピュータ（アドホック）モードで実行されている場合は、クライアントの無線カードから送信されます。

ふ

- ファームウェア** メモリ チップにプログラミングされているソフトウェア。
- ファイル サーバ** ファイル、メール、プログラムなどをローカル エリア ネットワークで共有するためのファイル用リポジトリ。
- ブロードキャスト パケット** 同一サブネット上のすべてのアドレスに送信される単一のデータ メッセージ（パケット）。

へ

- 変調** ユーザ情報とトランスミッタのキャリア信号を組み合わせる数種類の技法。

ま

- マルチキャスト パケット** 複数のアドレスに送信される単一のデータ メッセージ（パケット）。
- マルチパス** 無線信号が物体に当たって跳ね返ることで発生するエコー。

ゆ

- ユニキャスト パケット** 特定の IP アドレスに送信される単一のデータ メッセージ（パケット）。

れ

レシーバ感度 レシーバが受信し、正しくデータに変換することができる最も弱い信号の測定値。

ろ

ローミング 複数のアクセス ポイントを使用して、ユーザが LAN への連続した接続を維持したまま構内を移動できるようにする機能。

わ

ワークステーション クライアント アダプタを備えたコンピュータ デバイス。